

# 欧州でのビジネス成功の秘訣、 リトアニア

駐日リトアニア共和国大使館特命全権大使  
ダイニウス・カマイティス  
Mr. Dainius KAMAITIS




リトアニアは、ドイツの『クヴェトリンブルク年代記』に初めてその国名が刻まれた西暦1009年から、今年で1000周年を迎える、長い歴史をもつ国です。スカンジナビア半島と東西ヨーロッパの交差する位置にあり、バルト三国の一国であるリトアニアは、EUに加盟した国々の中でも、最も成功裏に経済発展が進んだ国のひとつといわれています。

現在、リトアニアは、知識経済型の事業環境と優秀な人材、バルト諸国で最も多様な産業構造を備え、幅広い投資優遇策を提供しています。日本の投資家やビジネスマンの方々にとっても、私たちの国は、得がたい事業機会とパートナーシップを提供できると強く確信しております。すでに、矢崎総業、コーエーがリトアニアに拠点を有し、また船井電機、日立製作所、日本ビクター、シャープ、インターロジックスがリトアニアで取引を行っていることから、リトアニア・ビジネスの潜在力を感じていただけることと思います。

リトアニアは、半径300キロ圏内に1600万人市場を擁し、スカンジナビア諸国、ロシア、CIS諸国、そして東欧諸国の市場に近接しています。また、EU、NATO、シェンゲン協定そしてWTOに加盟しており、広域物流の面からはEUと東洋を結ぶ重要な輸送拠点と認識されています。国内には、高速道路、鉄道網、4つの国際空港が整備され、さらに、バルト海最北の不凍港、クライペダ港は

地域内で最多の年間貨物取引高を誇っています。

リトアニアの教育レベルは、中・東欧諸国の中でも最高水準にあり、多言語に対応できる人材を備えていると自負しております。具体的には、高等教育修了者が全人口に占める割合は、EU15カ国・地域の平均率の2倍です。リトアニア人の3人に1人が英語を話し、10人に8人がロシア語を話すことができます。

リトアニアの事業設立・運営コストは、EU27カ国中で最も競争力が高く、さまざまな投資優遇策が外国のビジネスマンに活用されています。たとえば、インフラ設備の整った2つの自由経済区と9つの工業団地では、事業所設立や税に関する優遇措置が利用できます。

リトアニアには、西欧の良質で洗練された都会の生活があるだけでなく、手つかずの大自然もあります。世界遺産指定都市の首都ヴィリニウスでは、6月10～11日に「直接投資世界フォーラム2009」が開催されます。同フォーラムは、日本のビジネスマンの方々、リトアニアの投資環境について、より深く触れていただけるよい機会となることでしょう。ヴィリニウスは2009年の欧州文化首都に選ばれており、さまざまな芸術文化に関する行事も予定されています。リトアニアは常に日本からのお客様を歓迎しております。ぜひ期待におあずかりください。